

週1回程度だったテレワークがほぼ毎日に変わって1年が過ぎました。

1年前まではここまで劇的に働き方が変わるとは考えてもいみせんでした。今後、テレワークは基本の業務形態として定着していくと思いますので、この1年で感じた課題や取り組みを振り返ってみたいと思います。

当社は10年以上前からテレワークを取り入れていますが、ジョブ型組織のため、個人の役割や目標が明確になっており、全員が基本テレワークに移した時にも業務上の大きな混乱はなく、一人一

女性管理職が語る

在宅1年で実感、言葉の力

HPコーポレーション 事業本部 部長
日本コンピュータシステム 部長

沼田 綾子氏



ぬまた・あやこ 2001年、コンパックコンピュータ（現日本HP）入社。Eコマースやマーケティングの部署を経て16年にコンピュータ製品部へ異動。17年5月から現職。

とがないので、例えばミこと、いままでどおり
ーティングの際には本題
に入る前にちょっとした
雑談を交わしたり、有志
で部署横断のランチ会や
子育て中のメンバーとお
しゃべり会を実施したり
しています。

大きな変化に対応する
のは負担がかかります。
ただ、変化を前向きに捉
え、もがいた先に突破口
を見つけることができます
と信じています。コロナ
禍において、多くの企業
が試行錯誤しながら新し
い働き方に向けて動き出
しています。私もこの状
況を新しい日常と捉え
て、チームが前向きな気
持ちで業務に取り組み、
お互いにスキルを高めあ
い、支え合うことができ
るような工夫を続けてい
きたいと思っています。

コミュニケーションでは
ないかと思えます。この
1年間、会社としても全
体戦略や進捗を共有する
機会を増やしています。
私のチームも定例会や
上司・部下との個別ミー
ティングを密に行い、業
務時間中はお互いすぐ連
絡をとれる状況にしてい
ます。メールやチャット
だけでは、こちらの伝え
たいニュアンスが十分伝
わらなかったり、反対に
今はいままでどおり
雑談を交わしたり、有志
で部署横断のランチ会や
子育て中のメンバーとお
しゃべり会を実施したり
しています。

この環境の中で大きく
減少してしまう可能性が
あるのが、職場で自然に
存在していたインフォ
マルなコミュニケーション
です。業務の合間のた
ちに余裕が生まれたほ
か、逆に自分の何気ない
一言が周りの人を支えた
瞬間もあったようです。
直接会えない環境でも、
お互いを気遣って接する
工夫をしています。

人が増えているのもその
流れなのでしょう。
長期間化するテレワー
クの中、一番の難しさは